

・客観的な指標の算出方法

・評価は、(1) 学期毎テスト (2) レポート、課題、宿題等 (3) 製作物及び実習  
(4) 平素の学習状況及び授業態度これら 4 要素により評価する。

但し (3) 製作物及び実習を伴わない教科に於いては、これを除く 3 要素により評価する。評価は、各要素を 100 点満点で点数化し、合計点の平均より「A」～「E」で行う。「D」以上を合格とする。

	評語	点数
A	基準を大きく超えて優秀である	90以上
B	基準を超えて優秀である	89～80
C	望ましい基準に達している	79～70
D	最低限の基準に達している	69～60
E	基準を大きく下回る	59以下

・成績の分布状況は学年ごとに授業科目の得点平均値を算出することによって把握し、各学生の順位付けを行っている